

(様式1)

令和6年度 岩手県立大野高等学校 学校評価報告書

校長： 千葉 美春

総括的な評価

生徒・保護者対象のアンケート結果では、達成指標を上回った項目は少ないが、総じて満足度の割合は高い傾向にある。
次年度は、教育活動全般を通じて、入学率確保を意識した魅力ある学校づくりのため、生徒・保護者・地域との連携をさらに図っていく。

重点目標	達成指標	自己評価		学校関係者評価	改善方策
		評価項目及び実績等	達成状況		
1 基礎基本を定着させ、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ生徒を育成する。	・「授業に関するアンケート調査」における生徒の満足度がすべての教科において90%以上	・生徒の満足度を表す項目(15項目中13項目)において、90%未満の項目が5教科あった。	×	・生徒同士の話し合いの場面や意見を発表する機会を設けるなど、生徒同士が協働で学ぶ授業づくりが求められる。	・主体的で対話的な深い学び(授業)を目指し、ICT等の活用や研修に参加するなど、授業改善に努めていく。
2 キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。	・3年進路達成率100%	・進路達成率 100.0%(16/16名)	○	・きめ細やかな指導を実践し、全員が希望する進路を達成できることが求められる。	・入学後の早い時期から進路意識を醸成し、進路ガイダンスへの参加や学校見学、職業体験を積極的に取り入れていく。
3 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。	・学校評価「自己有用感の醸成」における生徒・保護者の満足度92%以上	・自己有用感の醸成の満足度 生徒 95.7% 保護者 82.6% ・久慈平荘との合同避難訓練を5年ぶりに実施	×	・少人数校の特徴を活かして生徒が活躍できる場を提供していくことが求められる。 ・久慈平荘との合同避難訓練は、地域(福祉)と学校を繋ぐものとして継続することが望ましい。	・生徒の活躍を地域や保護者へ紹介できる方策を検討する。 ・合同避難訓練は、継続して実施できるよう進める。
4 実効的に機能する学校いじめ対策組織を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対応に当たる。	・学校評価「いじめ防止の取組」における生徒・保護者の満足度92%以上	・いじめ防止の取組に関する満足度 生徒 95.7% 保護者 91.3%	×	・アンケートの実施や生徒との複数回の面談等を通じて引き続き、いじめ防止の取組を継続していくことが求められる。	・アンケートや面談を通じて生徒が相談しやすい雰囲気づくりや居場所づくりに努めていく。

(様式1)

重点目標	達成指標	自己評価		学校関係者評価	改善方策
		評価項目及び実績等	達成状況		
5 地域に信頼される学校づくり、魅力ある学校づくりに取り組む。	・学校評価「地域連携」における生徒・保護者の満足度 92%以上	・保護者や地域との連携に関する満足度 生徒 97.9% 保護者 93.5%	○	・魅力ある学校づくりに向けて、学校・生徒・地域が一体となって取り組んでいくことが求められる。	・学校通信の発行や一斉メール(メルマガ)の配信等を通じて、学校の様子を発信していく。 ・「おおのかフェ」の運営や里山整備、中学校との合同部活動等を通じて地域との連携、魅力ある学校づくりに取り組んでいく。
6 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する。	・学校評価「学校生活」における生徒・保護者の満足度 90%以上	・学校生活への満足度 生徒 91.5% 保護者 87.0%	×	・生徒個人を尊重し、生徒自身が「大野高校で良かった」と感じるとともに「大野高校を他者に勧めることができる」学校づくりに努めていただきたい。	・校長をリーダーとして、不適切な指導を根絶し、生徒・保護者・地域が満足できる学校づくりに努めていく。